

(一社) 那智勝浦観光機構 2020年度(令和2年度) 事業報告

I 事業実施総括

(一社) 那智勝浦観光機構(略称:NACKT)は、2020年4月1日に設立され、同年7月31日に那智勝浦町観光協会が解散した後は、その業務の一部(観光案内所の運営、熊野・那智ガイドの会事務局等)を引継ぎ、那智勝浦町の観光振興を一体的に担う「観光地域づくり候補法人」として、同年10月16日に観光庁に登録された。

組織設立から体制構築(P.3~P.7)

組織設立当初から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、従来のイベントはすべて中止となるなど厳しい船出となったが、その中でゼロからの組織づくりを行い7つの専門部会の設立(準備含む)、会員組織の創設、町内外関連組織との連携を行い、地域住民等に対する説明会の実施などを行った。

マーケティング事業(P.8~P.11)

2020年度は4つの調査を行いその結果を検証することで、観光プロモーション見直しの必要性、受入体制整備の具体的なアクションプランとその優先順位を浮き彫りにすることができた。次年度以降も各種データ等の継続的な収集を行い、専門家を交え様々な角度から分析をすることで、那智勝浦町における観光の持続的な観光戦略を構築していく。

プロモーション事業(P.12~P.18)

コロナ禍の厳しい中で既存のイベント等は中止せざるを得なかったが、観光庁の補助金を活用し、With コロナ時代のニューノーマルなイベントを複数実施することができた。また、那智勝浦町役場観光企画課と連携し「新型コロナウイルス関連緊急経済対策事業」として、団体/個人観光客誘致やマイクロツーリズムを促進した。After コロナを見据えた活動としては、ブランド・ステイトメントの作成、公式ウェブサイト、SNSの開設などの準備を完了し、今後の本格的なプロモーション開始に向けて備えることができた。

受入体制整備事業(P.19~P.24)

観光資源基礎調査、着地型旅行商品の開発(ポテンシャルの高い「神秘ウォーク」のリブランド、教育旅行向け体験型商品開発)、観光人材育成のための研修(バリアフリーコミュニケーション研修、LGBTQセミナー)を実施した。独自財源確保の準備として、旅行サービス手配業の登録を申請した。

収益事業(P.25)

コロナ禍における収益事業は大変厳しく、収益の柱である平安衣装レンタルは緊急事態宣言等による茶屋の休業や受け入れ人数制限などにより大きく減少となった。

ガイド手数料については、秋の修学旅行のガイド依頼が殺到したが、例年までの回復は得られなかった。

実証事業(P.26~P.35)

5-1_2020年度 NACKT 事業報告書

那智勝浦町の新たな魅力発信基地として「ブルービーチ那智」にて、グランピング実証実験を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上目標は未達成となったが、感染症拡大状況にこまめに対応したプロモーションを行い、関西エリアから新規の若者客誘致に成功し、新しい観光の動態調査を実施することができた。調査結果は次年度以降のプロモーション戦略に活かしていく。その他、観光庁の補助金事業に3プロジェクトが採択され(合計4,400万円規模)、近隣自治体(串本町、太地町、古座川町)との連携プロジェクトを実施した。

II 事業の実施状況

1. 組織設立から体制構築

2020年4月の組織設立後、7月末で那智勝浦町観光協会が解散し、一部業務（熊野・那智ガイドの会事務局、観光案内所運営）を引継ぎ、専門部会の設立や会員組織の創設、町内外各種団体との協力関係を構築した。町民説明会などを通じて観光地域づくりに関する意識啓発や参画促進に努めた。同年10月にはそれらの活動と計画が認められ「観光地域づくり候補法人（候補DMO）」として観光庁に登録された。

(1) 観光地域づくり候補法人（候補DMO）登録

2020年7月22日に観光庁へ申請書を提出し、同年10月16日「観光地域づくり候補法人（候補DMO）」へ登録された。

(2) 社員総会

理事の選任、収支補正予算の承認など、社員総会を開催する必要が生じたため、下記のとおり臨時社員総会を開催した。

実施日	会議名	内容
2020年10月14日	第1回臨時社員総会	社員の退社について 理事の辞任・選任について
2020年10月14日	第2回臨時社員総会	事務局職員の任命承認について 収支補正予算の承認について 他

(3) 理事会

会員の入会承認、部会員の指名、規程等の制定改正、収支予算の決議など、重要事項を決定する必要が生じた際、下記のとおり理事会を開催した。

実施日	会議名	内容
2020年3月27日	第1回理事会	理事長の選任について 副理事長の選任について 事務局職員の承認について 令和2年度事業計画及び収支予算について
2020年7月13日	第2回理事会	観光機構の活動報告について 観光地域づくり候補法人登録申請について 事務局職員の承認について NACKT 町民説明会の実施について 他
2020年10月14日	第3回理事会	社員の承認について
2020年10月14日	第4回理事会	副理事長の選任について 社員規程の制定について 理事会規則の制定について

		部会規程の制定について 会員規程の制定について 就業規則の制定について 収支補正予算について 事務局職員の任命承認について
2020年12月7日	第5回理事会	会員の入会承認について 宿泊部員の指名について 賞与規程の制定について 昇格・昇給等に関する規程の制定について 文書・決裁規程の制定について 就業規則の改正について 事務局職員の任命承認について
2021年2月5日	第6回理事会	育児・介護休業等に関する規程の制定について 安全衛生管理規程の制定について 社用印規程の制定について 事務局等に関する規程の制定について 会員規程の改正について 会員の入会承認について 飲食部員の指名について NACKT 会員（サポーター）募集について 他
2021年3月8日	第7回理事会	会員の入会承認について 文化財・歴史部員の指名について 観光資源・体験部員の指名について 観光機構当初予算案について グランピングの公募について

(4) 専門部会

地元観光事業者や各種団体など地域の多様な業種のメンバーで構成する7つの専門部会のうち、「宿泊部会」「飲食部会」「文化財・歴史部会」「観光資源・体験部会」を設立し、下記のとおりそれぞれ部会を開催した。「物販・特産品部会」「交通部会」「施設・環境整備部会」については、2021年5月の設立に向けて準備を行った。

実施日	会議名	内容
2020年12月9日	第1回宿泊部会	部会長等の選出・NACKT 活動報告
2021年2月16日	第1回飲食部会	部会長等の選出・NACKT 活動報告
2021年2月19日	第2回宿泊部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ NACKT 活動報告 ・ 観光人材育成研修周知 ・ OTA 宿泊割引クーポン配布連絡 ・ データ収集依頼 他

5-1_2020年度 NACKT 事業報告書

2021年3月12日	第1回文化財・ 歴史部会	<ul style="list-style-type: none">・部会長等の選出・ミニセミナー「日本の観光政策の方向性とDMOについて」 ～NACKT設立までの経緯含む～・NACKT活動報告
2021年3月12日	第1回観光資源・ 体験部会	<ul style="list-style-type: none">・部会長等の選出・ミニセミナー「日本の観光政策の方向性とDMOについて」 ～NACKT設立までの経緯含む～・NACKT活動報告

(5) NACKT 会員（サポーター）募集

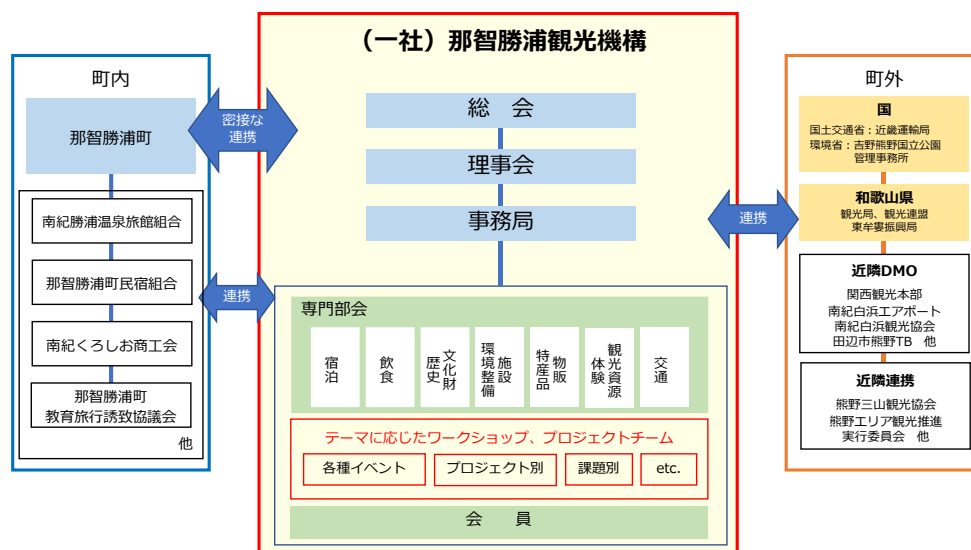
2020年12月より会員（サポーター）の募集を開始し、2021年3月末時点で、48事業者/個人が会員として入会している。（暫定405,000円の年会費見込）

(6) 町内外の組織との連携

町内外の関連団体等と積極的にコミュニケーションを取り、連携強化に努めた。連携団体とその内容については下記の通り。※各会議等の実施時期については、別添資料「2020 年度 NACKT 活動報告」を参照。

	団体名	連携内容
町内	那智勝浦町役場	週1回または隔週1回の定例会議を実施し、多方面において密接に連携
	南紀勝浦温泉旅館組合	繁忙期や緊急事態宣言発令時、GoTo キャンペーン関連などにおける町内宿泊施設の情報収集と周知協力・宿泊者データ収集協力 他
	那智勝浦町民宿組合	
	南紀くろしお商工会	GoTo キャンペーン関連の町内事業者サポート・各種情報発信協力 他
	熊野・那智ガイドの会	事務局代行・ガイドツアー運営改善・その他体験型旅行商品の見直し等
町外	和歌山県観光局 (公社)和歌山県観光連盟	広報・FAM トリップ・フィルムコミッション等で協力
	和歌山県東牟婁振興局	広報、周知、合同プロモーション等で協力
	熊野三山観光協会	合同プロモーション(インスタフォトアワード)等の実施
	熊野エリア観光推進実行委員会	合同プロモーション(販促物制作)等の実施
	まちなかジオツアー実行委員会	まちなかジオガイド(冊子)やオンラインツアー等の制作
	スペースポート紀伊周辺地域協議会	各種会議参画・委託事業者プロポーザル審査担当他
	田辺市熊野ツーリズムビューロー	既存ツアーのリブランド(共同開発)や販売委託
	(一社)南紀白浜観光協会	中部エリアからの誘致に対する合同プロモーション検討 他
	(株)南紀白浜エアポート	首都圏エリアからの誘致に対する情報交換 他
	南紀観光宣伝協議会	JR 利用者に対する合同販促キャンペーンの実施等
	西日本旅客鉄道(株)	観光列車「銀河」運行にあたっての販促キャンペーンの実施等
	国土交通省 近畿運輸局	関西エリア DMO/候補 DMO 意見交換会などの実施
	(一財)関西観光本部	インバウンド向け共同プロモーション等

<実施体制図>



(7) 地域住民等に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組み

「DMO とは」「日本の観光施策の方向性について」「NACKT について」などをテーマに、町民説明会を 3 回、那智勝浦町役場職員に対する説明会を 4 回、那智勝浦町議会議員に対して 1 回、合計 8 回実施した。



▲町民説明会の様子（計 3 回で 95 名が参加）。

2. マーケティング事業（各種調査）

2020 年度は 4 つの調査を実施。専門家を交えて様々な角度から分析することで、2021 年度以降の観光地として持続的な観光戦略を構築していく。

(1) 宿泊旅行統計調査

宿泊旅行の実態を把握するため、宿泊施設から月別の延べ宿泊者数と外国人の延べ宿泊者数を提供いただき、継続的な収集を行っている那智勝浦町観光企画課と連携し、那智勝浦町や和歌山県が発表する統計と観光庁による宿泊旅行統計調査の結果と比較するなど、多角的な検証を行った。

2019 年度は、大型宿泊施設の耐震工事等により、宿泊者数が大きく減少。工事の完了や休業施設の再開が見込まれた 2020 年度以降の回復と見込み、前年比約 25,000 人の増加を目標とし、2020 年度の目標値を「40 万人」と設定していた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、目標値に対して 53.6%の達成率となった。前年度比 41.8%減となり、外国人旅行者に至っては前年度比 99.7%減となった。

	目標	実績	目標達成率	前年対比
2018 年度	—	505,132	—	—
	(—)	(52,724)	(—)	—
2019 年度	—	368,411	—	27.1%減
	(—)	(37,022)	(—)	29.8%減
2020 年度	400,000	214,362	53.6%	41.8%減
	(42,000)	(124)	0.3%	99.7%減

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※参考：国内全体の延べ宿泊者数の前年度比較は、48.9%（外国人は 84.4%）：観光庁発表

(2) 来訪者アンケート調査

① モバイルアンケート調査

旅行者の動態を調査する目的で、来訪者へのモバイルアンケート調査を実施した。

■調査期間：2021年2月1日～3月31日

■調査項目：来訪者属性、那智勝浦町に対する満足度、観光消費額 他

■回答数：宿泊 1,404件 日帰り 460件

■結果（一部抜粋）

➢日帰り客と宿泊客を比較すると、宿泊客は若者（20代～30代）の占める割合が低い。【日帰り：43.7% ➡ 宿泊：27.7%】

➢満足度への回答は、総合的には非常に高いが、「お土産・買い物」「交通」「情報提供」の点において低い。

	宿泊施設	食事	お土産・買い物	交通	情報提供	総合
日帰り客	—	90.2%	74.3%	71.5%	72.2%	88.7%
宿泊客	90.7%	81.7%	78.6%	74.6%	75.1%	90.3%

※7段階評価の「大変満足」と「満足」の合計が占める比率

➢新規顧客の「1年以内の再訪意思」は、日帰り客（56.0%）、宿泊客（54.1%）ともに約半数にとどまる。

➢お土産を購入しなかった人の割合は、日帰り客（28.0%）、宿泊客（15.3%）であるが、その理由のトップは、どちらも「購入したいと思う商品がなかった」、2位が「購入できるお店がなかった・分からなかった」であった。

●その他、現状把握と様々な課題を見つけることができた。2021年度はこれらの結果から有効な戦略を立て、各種専門部会や町内事業者と共に効果的なプロモーションと観光客受入体制の改善に努める。



(3) 町内回遊率調査

来訪者の町内回遊率とエリア別での来訪者属性を調査するために、Wifi ビーコンを使った来訪者調査を実施した。



■調査期間：2020 年 12 月 25 日～2021 年 1 月 24 日

■調査場所：勝浦漁港エリア（にぎわい市場事務所内設置）
那智山エリア（那智の滝前社務所内設置）

■調査項目：日別来訪者数、エリア別の来訪者属性、回遊率

■結果：

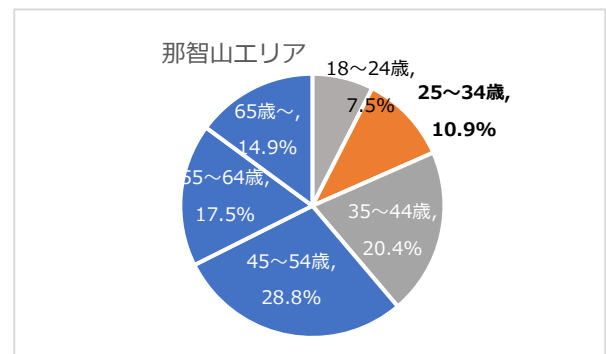
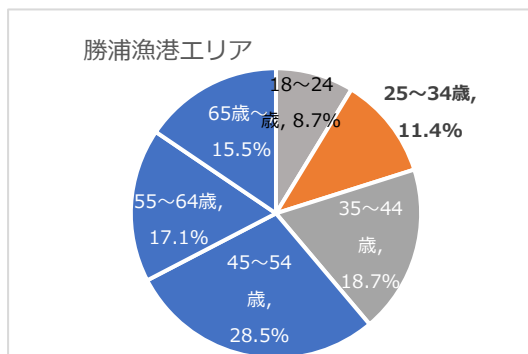
➢来訪者数：勝浦漁港エリア 3,918 名、那智山エリア 6,279 名

➢回遊率： どちらのルートも、非常に低い。

ルート	回遊率
勝浦漁港エリア ➡ 那智山エリア	13.9%
那智山エリア ➡ 勝浦漁港エリア	6.8%

➢エリア別来訪者属性：

【年齢層】ターゲットである 25 歳～35 歳は勝浦漁港エリアで 11.4%、那智山エリアで 10.9%といずれも低い割合であった。どちらのエリアも 45 歳以上が 60%以上を占めた。



●回遊率を上げる施策とターゲット層に対するプロモーション強化の必要性が浮き彫りとなった。2021 年度にはそれらの具体的な戦略を立て、実行していく。

(4) ウェブサイトのアクセス解析（2021 年度に向けての準備）

2021 年度よりウェブサイトのアクセス解析を開始するために、今年度では新たなウェブサイトを制作した。（2021 年 3 月末開設）。今後は、新ウェブサイトのアクセス状況を集計し、サイト訪問者の利用状況や傾向を分析することで、目的に合った情報が提供されているかを確認し、テーマや内容を決めて情報発信を行っていく予定である。

(5) 観光住民満足度調査

那智勝浦町が「観光地」として継続的に観光客に訪れいただくためには、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを進めていくことが不可欠と考え、町民に対して観光地としての満足度を調査した。

■調査期間：2020年7月1日～2021年2月28日

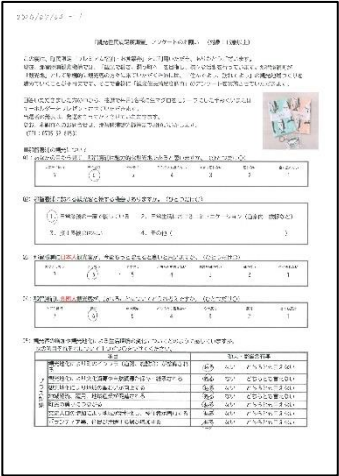
■調査対象：「町民限定プレミアム宿泊・食事券」を利用した町民

※「町民限定プレミアム宿泊・食事券」とは、2020年度のコロナ禍において、町内宿泊事業者への支援と町民に町の良さを再発見していただくことを目的に、NACKTが発行した町内宿泊施設で使える金券である。

■調査方法：「町民限定プレミアム宿泊・食事券」にアンケート用紙を同封。宿泊施設または那智勝浦町観光案内所にて回収。

■結果：(一部抜粋) 有効回答数 162件

「町にとっての観光振興の位置づけ」として、「とても重要である」、「重要である」と回答したのは、85.4%であったが、一方で「那智勝浦は魅力的な観光地であるか」との質問に対し「大変そう思う」、「そう思う」と回答したのは、63.0%にとどまった。また「観光が発展すると自分たちの生活も豊かになるか」との質問に対し、「大変そう思う」、「そう思う」との回答は39.2%と非常に低かった。



町にとって観光振興とはどのような位置づけか

とても重要である	77	85.4%
重要である	52	
どちらかといえば重要	13	8.6%
どちらとも言いえない	5	3.3%
どちらかといえば重要ではない	1	0.7%
重要ではない	2	1.3%
まったく重要ではない	1	0.7%

那智勝浦は魅力的な観光地であるか

大変そう思う	41	63.0%
そう思う	61	
やや思う	27	16.7%
どちらとも言いえない	10	6.2%
あまり思わない	19	11.7%
思わない	4	2.5%
まったく思わない	0	0.0%

観光が発展すると、あなたの生活も豊かになる

大変そう思う	26	39.2%
そう思う	34	
やや思う	30	19.6%
どちらとも言いえない	31	20.3%
あまり思わない	13	8.5%
思わない	13	8.5%
まったく思わない	6	3.9%

また観光業が町の基幹産業であるにも関わらず、未就業者への「将来、町の観光産業で働いてみたいと思うか」との質問に対し「大変そう思う」、「そう思う」と回答したのは、21.4%と非常に低かった。未就業の子どもを持つ親を対象に「将来、子どもを町の観光産業で働かせてみたいと思うか」への質問に対しては「大変そう思う」、「そう思う」と回答したのは、さらに低く、わずか15.3%であった。

将来、町の観光産業で働いてみたいと思いますか (未就業の方対象)

大変そう思う	6	21.4%
そう思う	6	
やや思う	12	21.4%
どちらとも言いえない	20	35.7%
あまり思わない	4	7.1%
思わない	6	10.7%
まったく思わない	2	3.6%

将来、お子様を町の観光産業で働かせてみたいと思いますか (未就業の子どもを持つ親対象)

大変そう思う	0	15.3%
そう思う	11	
やや思う	9	12.5%
どちらとも言いえない	31	43.1%
あまり思わない	6	8.3%
思わない	11	15.3%
まったく思わない	4	5.6%

●今回の調査は、その調査方法の特異性から年齢・性別・職業・居住エリアに偏りが生じたため、町民全

体の調査結果とは言い難いため、2021年度は対象を町内に広げ、引き続き調査を行う予定である。

3. プロモーション事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ほとんどの広告宣伝、商談会や既存のイベントは中止となったが、一方で With コロナ時代のニューノーマルなイベントを積極的に開催した。また「新型コロナウイルス関連緊急経済対策事業」として団体/個人観光客の誘致、マイクロツーリズム促進を目的とした各事業を那智勝浦町役場と連携して実施した。After コロナを見据えての活動としては、ブランド・ステイトメントの作成、公式ウェブサイト、SNSの開設などの準備を完了し、次年度以降の本格的なプロモーションへ備えることが出来た。

(1) ブランド・ビジョン規定

町内若手観光業従事者とともに、町のブランド・ビジョン規定のためのワークショップを開催。各分野の専門家からの助言を経て、ブランド・ステイトメント（那智勝浦らしさを明文化したもの）「心を遠くへ 那智勝浦町」を作成。

主に首都圏、インバウンド向けのプロモーションへ活用し、ロングステイにつなげていく。



心を遠くへ。那智勝浦町。

山の向こうへ 海の向こうへ 空の向こうへ

追いかけてくる日常が 届かないくらい遠くまで

その距離が 日々の暮らしから心を自由にしてくれる。

そこに見つかる大自然 都会と違う時間の流れ 空間のスケール

五感がひらく。心が動く。

神話から宇宙まで。

遠い昔も、遠い未来も見えてくる。

心を遠くへ。那智勝浦へ。

(2) 広告宣伝

コロナ禍のため、2020年度は広告宣伝を控え、出展を予定していた商談会なども中止となった。日々刻々と変化する新型コロナウイルス感染症拡大状況に対応した、グランピング事業の SNS ストーリー広告と大阪駅前プロモーションを実施した。

① グランピング事業 Facebook、Instagram ストーリー広告



②大阪駅前プロモーション（「和みわかやまキャンペーン推進協議会事務局」主催に参加。）

2020年11月14日（土）～15日（日）大阪駅前アトリウム広場にて、グランピングイメージ動画放映とグランピングパンフレット、生まぐろマップを各300部設置した。コロナ禍により手配り禁止だったため、各50部しか消化されず、余剰分は和歌山マリーナシティにて設置し、すべて消化済。



(3) 広報

①メディア掲載

那智勝浦の魅力を届けるため、テレビ、雑誌、ガイドブックの取材撮影協力や情報、写真素材の提供を行った。（※那智勝浦町観光協会から業務を引き継ぎ、2020年8月より）当機構の取組やイベントについても各種メディアの協力を得て情報発信に努めた。（2020年4月設立時より）

■2020年度メディア掲載件数

- ・（一社）那智勝浦観光機構掲載記事・・・95件（新聞、テレビ、ラジオ）
 ※別紙資料2「2020年度（一社）那智勝浦観光機構メディア掲載リスト」参照
- ・映画、ドラマ、テレビCM等撮影・・・3件
- ・雑誌、Web、パンフレット掲載記事・・・61件
- ・写真素材提供・・・27件（イベントや観光スポットなど）

■メディア露出事例

フジテレビ2時間サスペンスドラマ
「死との約束」



YouTube「The Exciting Kansai」
ANA 国内線機内プロモーション動画



ウェブ情報発信メディア「Travel Note」掲載



②SNS 公式アカウント開設

2020年5月より各種SNS公式アカウントを開設し、定期的な情報発信を行った。Instagram（日本語）1,753名、Instagram（英語）35名、Facebook625名、Twitter180名、合計2,455名のフォロワーを獲得（2021年3月末時点）。

(4) 販促

①団体宿泊旅行誘致 <バス助成金交付事業>

■助成対象：2020年8月3日～2021年2月26日に町内に宿泊する団体旅行

※12月29日～1月3日は除く

■助成額：バス1台について、20名以上乗車の場合 50,000円/1台

10～19名乗車の場合 30,000円/1台

■条件：・那智勝浦町内の宿泊施設に、1泊以上宿泊すること

・バスでの出発地が和歌山県外であること

・宿泊該当日が土日及び祝祭日でないこと

・1支店あたり、上限30万円まで

※教育旅行はコロナ禍を理由に、行先を那智勝浦町へ変更したもののみ対象とする。

■結果：310万円で、ツアー数：45件、バス台数：68台、誘客人数：1,982名を誘致。

(1名誘致するにあたり1,564円)

●利用旅行会社へアンケート調査を実施し、次年度以降の計画へ活かした。

②個人宿泊旅行誘致及び観光消費促進 <OTA宿泊割引クーポン及び商工会商品券発行>

じゃらん net にて宿泊割引クーポンを配布。チェックイン時に3,000円の町なかで使える商工会商品券を配布し、個人の町内で宿泊旅行誘致と、町内飲食店・物産店等への消費促進に努めた。

■実施期間と対象

配布期間	宿泊対象期間	対象
2020年7月1日～7月31日	2020年7月1日～8月31日	和歌山県民限定
2020年7月29日～10月30日	2020年8月1日～10月31日	東京都民除外(全国)
2021年2月8日～2月27日	2021年2月12日～2月28日	県民限定(金・土・日のみ)
2021年3月1日～3月31日	2021年3月5日～3月31日	県民限定(3/18までは金・土・日のみ)

※すべて1室2名以上で利用可

■じゃらんでの周知

・じゃらん net 掲載：2020年7月1日～2021年3月31日

・関西中国四国版じゃらん本誌：2020年9月号、2021年2月号

■結果

補助事業額：29,341,820円

利用件数：1,527件

利用人数：3,773人泊

取扱額：50,907,487円

③マイクロツーリズム促進 <町民限定プレミアム宿泊・お食事券発行>

■実施期間：2020年7月1日～2021年2月28日

■事業概要：

- ・町内宿泊施設で使用できる町民限定宿泊・お食事券1セット8,000円分（1,000円×8枚）を3,000円で那智勝浦町観光案内所にて対面販売。
- ・利用者に対して、観光住民満足度調査を実施し、今後のマーケティング資料として活用する。

■結果：約1週間で完売

使用枚数：23,601枚（使用率98.3%）=23,601,000円



④GoToキャンペーン利用促進 <町内事業者登録サポート>

開始当初2週間で町内に約800万円分の地域共通クーポンが放出されたが、町内で使用できる店舗が少なく、また情報もなかったため、町外へクーポン利用が流出。南紀勝浦温泉旅館組合、南紀くろしお商工会、那智勝浦町役場と共に登録サポートを実施。

■結果：使用可能店舗数

サポート開始前：25軒（うち飲食店2軒） ⇒128軒（うち飲食店36軒）

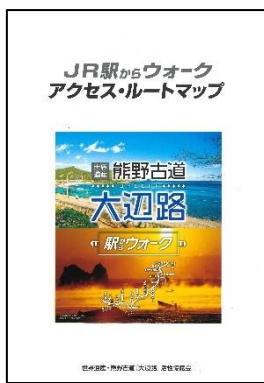
⑤パンフレット制作

観光庁事業「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証事業」（予算規模：2,000万円）の一環として、「わがらの駅お散歩まっぷ」と「大辺路 JR 駅からウォーク アクセス・ルートマップ」を那智勝浦町と串本町（隣町）の各種団体が協働で制作。

※「わがらの駅お散歩マップ」とは、列車の待ち時間の有効活用に役立つ、JR和深駅～JR宇久井駅間の15駅各周辺の見どころを楽しく案内する絵地図をまとめた冊子。

那智勝浦町、串本町の「大辺路」に係る各地区長、案内ガイド団体、熊野古道保全団体、地区の有識者の協力のもと検討委員会を組織して、地元の声を反映させる体制で制作。

- ・「わがらの駅お散歩まっぷ」5,000部制作 各観光案内所や駅にて配架
- ・「アクセスルートマップ」1,500部制作 各観光案内所や駅にて配架



(5) ウェブサイト制作

2020 年 4 月の時点では、那智勝浦町観光協会のウェブサイトを引き継ぎ運営。5 月より新ウェブサイトの制作を開始。那智勝浦町観光協会の「会員店舗を公平に平等に掲載する」という方針から脱却し、実際に来町意識の醸成を促す方針へ転換。2021 年 3 月末に新ウェブサイトをオープン。現在、町内事業者等の情報を更新中。



(6) イベント

コロナ禍において、既存のイベントはすべて中止となったが、With コロナ時代のイベントとして、「オンライン」「三密回避」「野外」をキーワードにした様々なイベントを実施。

① 那智勝浦の生まぐろを最大限楽しむ♪【オンライン生まぐろツアー】

県内初のオンラインツアーとして話題に。2回とも定員を増やして完売。

■ツアー概要：

事前に、参加者の自宅に「生まぐろ」「地元産醤油（藤野醤油）」

「地元産塩（熊野黒潮本舗）」、旅のしおり、手紙が届く。

当日は、Zoomを使ってオンラインツアーを実施。

- ・勝浦漁港からライブ中継、みんなで乾杯！
- ・動画（事前撮影）で生まぐろの解体と発送の様子を紹介
- ・鮪の仲買人からまぐろについて学ぶ（まぐろの種類、那智勝浦のまぐろが美味しい秘密、SDGs）
- ・醤油と塩の生産者から、造り方やこだわりポイントを学ぶ
- ・鮪の仲買人/料理人から、「美味しい切り方」「美味しい食べ方」を学ぶ
- ・みんなで生まぐろを食べよう！醤油と塩の食べ比べ
- ・質問タイムと記念撮影



■実施日：2020年6月13日（土）17:00～18:30

2020年7月5日（日）17:00～18:30

■参加者数：61組

■売上：279,500円

Aセット 5,500円×27セット（マグロ300g+醤油+塩）

Bセット 6,500円×24セット（マグロ500g+醤油+塩）

Cセット 7,500円×10セット（マグロ300g+醤油+塩+現地で使えるお食事券）

■パブリシティ

- ・新聞掲載7件（朝日、毎日、紀南2件、熊野2件、紀伊民報）
- ・ウェブニュース2件（トラベルボイス、共同通信）＋多数（共同通信よりシェア）
- ・ラジオ2件（和歌山放送、FM TANABE）
- ・テレビ放映6件（朝日、関西、読売、NHK、和歌山、ZTV）
- ・観光専門雑誌「とーりまかし」2020年9月号
- ・東京都産業労働局「新しい日常～都内観光事業者向け支援サイト～」(ウェブサイト) 事例として掲載

■アンケート結果；(有効回答数20件 5段階評価)



ツアー満足度：平均 4.6 「知人に薦めたいか」：平均 4.7 「実際に現地に行きたいか」：平均 4.6

② BLUE BEACH NACHI キャンドルセレモニー

グランピング施設、カフェ、子どもの遊び場の新規オープンイベントがコロナ禍で中止になったため、コロナ感染予防対策を施し、コロナ収束の願いを込めて、町民とキャンドルに点火するセレモニーを実施した。

■実施日：2020年9月25日（金）18:30～19:00

■参加者：町民およそ100名



③ブルービーチナチマーケット

町内、近隣の飲食店が5店舗出店。コロナ感染対策を施し、オープンエアで楽しめるイベントとして開催。

■実施日：2020年11月15日（日）11:00～16:00

■参加者数：1,000名以上の方が訪れた。



④熊野三山 Instagram フォトアワード 2020

■実施期間：2020年9月1日～2021年2月28日

■主催：熊野三山観光協会（新宮市観光協会、熊野本宮観光協会、NACKT、東牟婁振興局）

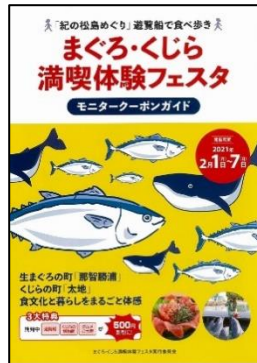
■概要：

Instagram上でフォトアワードを実施。応募の条件は、各3団体のInstagramアカウントをすべてフォローしていること。那智勝浦の商品は、①生まぐろ三昧セット ②那智勝浦トリップセット（平安衣装体験ペアチケット、市場ごはんしげのランチペアチケット、生まぐろのてぬぐいセット）を月替わりで提供。

■結果：

他のプロモーション効果もあり、NACKTの公式Instagramフォロワー数は、およそ500件増加した。【アワード開始前（2020年8月末）1,160フォロワー⇒2021年2月1日時点で1,682フォロワー】

※「生き伊勢海老が届く！町長&オンライン兄さんと巡る那智勝浦ツアー」、「世界遺産熊野古道大辺路 駅からウォーク」、「まぐろ・くじら満喫体験フェスタ」、「熊野ジビエレストランバスツアー」に関しては、28ページ以降に記載。



4. 受入体制整備事業

上期に町内の観光資源調査を実施し、課題が多かった熊野古道大辺路活性化の企画が観光庁補助金事業で採択され、2,000万円の予算を獲得しプロジェクトとして実行することができた。着地型旅行商品開発としては、ポテンシャルの高い「神秘ウォーク」のリブランドと教育旅行向け体験型商品を課題解決型で開発した。また観光人材育成を目的に2つの研修を実施した。独自財源確保の準備として、旅行サービス手配業の登録も行った。

(1) 観光資源基礎調査

町内約40か所を、町民の協力のもと2020年6月に実施。調査結果から、認知度が低く課題の多い熊野古道大辺路を整備し、ウォーキング・体験・イベント等を組合わせた新観光メニューの造成を企画。観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業の公募へ【世界遺産・熊野古道「大辺路」を要とした滞在を促進する誘客多角化事業】として応募。採択され実現した。※事業内容は、28～29ページに

日程	種別	調査ルート	参加団体
6/2	大辺路	ゆかし瀧駐車場⇒呼ばずの鼻⇒四季の郷温泉⇒ゆりのやま温泉 ⇒JR湯川駅⇒河川公園⇒遊歩道⇒きよもん湯⇒温泉寺 ⇒ゆかし瀧駐車場 ⇒夏山海岸: 弁財天	■なちかつ古道を守る会 ■NACKT
6/3	中辺路	大門坂～那智の滝 かけぬけ道	■熊野・那智ガイドの会 ■NACKT
6/4		JR宇久井駅⇒小獅子峠⇒獅子ノ川集落⇒大獅子峠⇒旧道⇒JR宇久井駅	■熊野・那智ガイドの会 ■NACKT
6/9		曼荼羅の道 JR那智駅⇒浜の宮王子⇒尼将軍⇒大門坂	■熊野・那智ガイドの会 ■那智勝浦町観光企画課 ■NACKT
6/10	大辺路	浦神周辺 JR紀伊浦神駅⇒浦神峠⇒市屋峠⇒二河峠⇒JR湯川駅	■なちかつ古道を守る会 ■熊野・那智ガイドの会 ■NACKT
6/11		JR紀伊田原駅⇒清水峠⇒JR紀伊浦神駅	■熊野・那智ガイドの会 ■大辺路刈り開き隊(串本) ■NACKT
6/17	市街地	那智勝浦町市街地 JR紀伊勝浦駅⇒魚市場⇒仲ノ町⇒弁天島⇒お蛇浦遊歩道 他	■脇仲倶楽部 ■熊野・那智ガイドの会
6/18	大辺路	JR紀伊田原駅⇒佐部城址分岐⇒八郎峠⇄八郎山山頂⇒中里	■大辺路刈り開き隊 ■NACKT
6/19		ゆかし瀧駐車場⇒駿田峠⇒勝浦観光ホテル⇒JR紀伊天満駅⇒JR那智駅	■なちかつ古道を守る会 ■熊野・那智ガイドの会 ■NACKT

記載。

(2) 着地型旅行商品開発

① 人気商品「神秘ウォーク」のリブランドを実施。

※神秘ウォークとは

那智の滝（通称「一の滝」）の奥に普段立ち入りが禁止されている神域がある。熊野那智大社で正式参拝（禊）を受け、公認ガイドを帯同することで入山が許される。手つかずの原生林と美しい「二の滝」「三の滝」等を巡るガイドツアー。期間限定（毎年2月～5月）

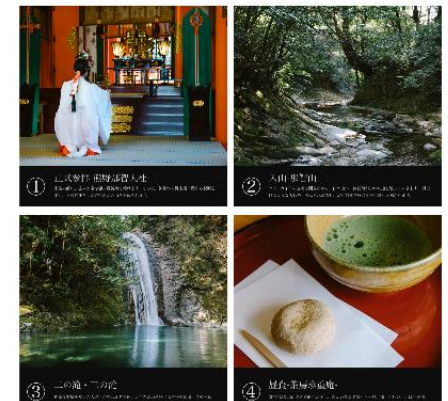
この「神秘ウォーク」をリブランドした「三滝詣 ～那智の滝 その向こうへ～」は、観光庁の「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた地域コンテンツ確認事業」の対象プログラムに選出され、2021年3月17日に専門家からの視察と助言を受けた。

※「上質なインバウンド観光サービス創出に向けた地域コンテンツ確認事業」とは、世界中の旅行者を惹きつける上質な観光体験を実現するための一体的な取り組みに対し官民挙げて迅速かつ強力に推進するという観光庁の方針に基づき、観光庁から委託を受けたトラベルデザイナーや DMC が体験コンテンツを視察し、富裕層向けの旅行商品への磨き上げのためのフィードバックを行う事業。



那智大社で正式参拝（禊）を受け、公認ガイドを帯同することで入山が許される。手つかずの原生林と美しい「二の滝」「三の滝」等を巡るガイドツアー。期間限定（毎年2月～5月）

那智の滝
那智神域の巡り



▲観光庁から派遣された専門家視察の様子

●田辺市熊野ツーリズムビューロー、熊野・那智ガイドの会と共に2022年からの販売を目指して、現在、最終的な調整と協議を進めている。

② 教育旅行向け体験型商品開発

※詳細は、23ページに記載。

(3) 観光人材育成

町内の観光事業従事者に対し、受け入れ環境整備の一環として「多様性を理解し、すべてのお客様に笑顔とおもてなし！」を合言葉に、テーマを絞ったセミナーや研修を 2020 年度は 2 回実施。

① バリアフリーコミュニケーション研修 ～ハードはハート♡で超えよう～

■実施日：2021年2月26日（金） 14:00～16:30

■実施場所：那智勝浦町役場 1階会議室 ※町なかでの実習あり

■ファシリテーター：片原 桜子さん（町内観光事業者で車いす利用者）
堀 千寿子（NACKT）

■目的：障がいがある方の不便さを理解し、どのような対応・工夫が出来るのかを考え、具体的なアクションプランを作成する。

■研修形態：少人数ワークショップ形式

■受講者数：10名（定員18名）

■受講者アンケート結果：（有効回答数10）

- ・研修全体の満足度：90%
主なコメント「当事者からの話+体験型だったため、気づきや学びが多かった。」
- ・ファシリテーターの話に対する満足度：90%
主なコメント「分かりやすく、前向きで熱意があり、とても良かった。」
- ・研修は参考になる内容だった：100%
主なコメント「館内のバリアフリー化に活かせると思う。」



▲当日の研修の様子

② はじめてのLGBTQセミナー

■主催：那智勝浦町

共催：那智勝浦町教育委員会・(一社) 那智勝浦観光機構

後援：那智勝浦町人権尊重推進委員会

■実施日：2021年3月29日(月) 14:00~16:00

■実施場所：那智勝浦町体育文化会館 アリーナ

■講師：杉山 文野さん(株式会社ニューキャンパス)

■目的：性の多様性と人権について学び、理解を深め今日からできることを考える

■研修形態：セミナー形式

■受講者数：107名(当初定員50名、会場変更後受入)

■受講者アンケート結果：(有効回答数39)

・研修全体の満足度：92.3%

主なコメント「初心者には理解しやすかった」「世の中は色々だと知った。」

・講師の話に対する満足度：94.8%

主なコメント「話の構成がしっかりしていて分かりやすく、聴衆を飽きさせなかった。」
「大変広い視点での内容で納得できた。」

・研修は参考になる内容だった：89.7%

主なコメント「これから子どもたちへの授業に役立てます！」
「日常生活でも大変役に立つと思いました。」



▲当日のセミナーの様子

●LGBTQとは：

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)を表す言葉で、性的指向や性自認を意味する英語の頭文字を取って作られた。Lesbian(レズビアン)は同性を恋愛の対象とする女性、Gay(ゲイ)は同性を恋愛の対象とする男性、Bisexual(バイセクシュアル)は同性も異性も恋愛対象となりうる人、Transgender(トランスジェンダー)は出生時に割り当てられた性と心の性に違和感や不一致感を持つ人、Questioning(クエスチョニング)またはQueer(ク

イア)は規範的な性の在り方以外のセクシャリティを表す。

(4) 教育旅行受入整備

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、那智勝浦町内を訪れる教育旅行の数が昨年度対比で11倍以上(熊野古道ガイドウォーク申込数で算出。2019年度10件⇒2020年度110件以上)となり、次年度以降に繋げるために、教育旅行の受入整備を実施。

① 調査

旅行会社に対して、那智勝浦町内での教育旅行に関するアンケート調査を実施。

■対象：熊野古道ガイドウォーク利用の旅行会社担当者

■方式：アテンドスタッフによる対面式アンケート(有効回答数：33校)

■結果

「那智勝浦町への修学旅行を他校にお勧めできるか?」との質問に対して、肯定的な回答は97%と高かったにも関わらず、「コロナ収束後も、行き先として那智勝浦町を選ぶか?」との質問に対しては、肯定的な回答は36.4%と低かった。その理由は、「コロナ収束後は、元の行先に戻すことになっている」「来年度はすでに行先が他のところに決まっている」など、那智勝浦町に対する満足度とは関係しない理由が多かったが、アンケート調査からは、下記の5つの課題が浮き彫りになった。

<課題>

ア：「夜」「子ども向け」「雨天時でも可能」な体験商品の開発が必要

イ：昼食場所の改善が必要

ウ：お土産の開発、買い物ができるルートの提案が必要

エ：ハード面(特にトイレ、駐車場)の改善が必要

オ：営業の強化(魅力をアピールするパンフレットなどを制作するなど)

② 商品開発

前項の課題ア～ウを改善するために、町内事業者、外部専門家の協力を得て新商品を2つ開発。

■ホテル浦島 SDGs 謎解きクイズラリー

SDGsを体感学習できる謎解きクイズラリー。チームに分かれて、クイズにチャレンジ。チームビルディング、自主性促進、課題解決などの要素が取り入れられたプログラム。

集合場所でルール説明(マップ配布) チームに分かれて謎解きスタート。チームで自由に探検して、各ポイントで謎を解き、クイズのポイントをゲット。クイズに正解すればオリジナルグッズをプレゼント。

<時間> 11:00~15:00の間で、1時間程度

※ホテル浦島での「宿泊」「昼食」「日帰り温泉」のいずれかとのセット

■那智高原・野生動物観察バスツアー

バスの車内から、夜の野生鹿を観察。自然豊かな那智高原で、野生鹿の生態を観察し、昼間では出会えない野生の表情と、暗闇に光る瞳に出会えるアドベンチャー。獣害などについても学べる。

<時間> 日没後~21時くらいまでの間で、90分程度



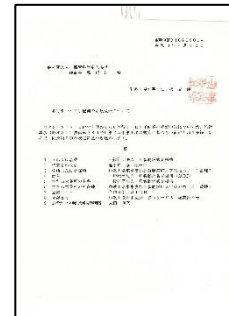
③ 営業ツールの制作（パンフレット）を制作

各種関連団体や町内事業者の営業チームに共有。2021年5月より営業を開始予定。

(5) 旅行手配サービス業登録

2021年3月25日～26日で研修を修了し登録申請。

2021年4月12日に登録が完了。



(6) 那智勝浦町観光案内所の運営

2020年7月末に解散した那智勝浦町観光協会から引き継ぎ、JR紀伊勝浦駅前の那智勝浦町観光案内所の運営を実施。那智勝浦町観光企画課から出向のCIR(国際交流員)2名と共に観光客への案内サービス等を実施。

■営業時間：9時～18時（年中無休）

■職員数：3名（パートタイム）+CIR2名

■主な業務内容：

- ・観光客への観光情報提供
- ・町内観光事業者へのサポート（各種クーポン、パンフレット等の受け渡し等）
- ・観光資料の発送（個人、事業者）
- ・レンタサイクル貸し出し業務
- ・熊野古道ガイドツアー、平安衣装体験の予約受付等

■対応言語：日本語、英語、中国語、インドネシア語

5. 収益事業

観光機構独自の収入源である収益事業は、コロナ禍の影響を大きく受け、収益の柱となる平安衣装レンタルは昨年比 51.6%減、ガイド手数料は 29.1%減となった。レンタサイクルは三輪電動自転車の配備と三密回避の商品として人気があり、昨年比 65.3%増となった。

(1) 平安衣装レンタル

年度	モデルコース	体験コース	収入額
2019年度	1,612件	564件	5,463,492円
2020年度	706件	395件	2,643,995円
前年比	56.2%減	30%減	51.6%減

(2) レンタサイクル

年度	貸出件数	収入額
2019年度	297件	180,200円
2020年度	340件	298,000円
前年比	14.4%増	65.3%増

(3) 熊野古道ガイドウォーク（熊野・那智ガイドの会事務局代行）

年度	ガイド件数	お客様数	取扱額	NACKT 売上	手数料比率
2019年度	933件	14,066名	7,030,150円	1,195,885円	17.0%
2020年度	864件	10,129名	4,792,600円	847,980円	17.7%
前年比	7.4%減	28%減	31.8%減	29.1%減	—

6. 実証事業

那智勝浦町の新たな魅力発信基地として、「ブルービーチ那智」にてグランピング実証実験を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、感染症拡大状況にこまめに対応したプロモーションを行い、関西エリアから新規の若者誘致に成功することができた。次年度以降のプロモーション戦略に活かしていく。その他、観光庁の補助金事業に3プロジェクトが採択され（合計4,400万円規模）、近隣自治体（串本町、太地町、古座川町）との連携プロジェクトを実施することができた。

(1) BLUE BEACH NACHI 那智勝浦町グランピング実証事業

国立公園かつ都市公園でもある「ブルービーチ那智」を那智勝浦町の新たな魅力発信基地として運用すべく、実証事業を実施。簡易宿所（グランピング施設）、カフェに加えて、子どもたちの遊び場を備えた新しい観光拠点として展開し、町内外の来場者満足度、消費効果、観光動向を調査。

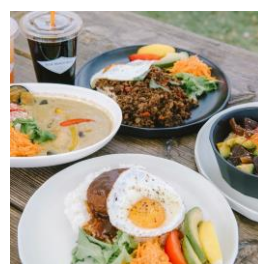
■実施期間：2020年9月11日～2021年3月31日

■機能：

- ・ BLUE BEACH NACHI <STAY>：グランピングテントでの宿泊エリア（5張）



- ・ BLUE BEACH NACHI <CAFE>：カフェエリア



- ・ BLUE BEACH NACHI <PARK>：子ども向け遊具設置エリア



■料金：

グランピング 1泊2食 11,000円～（曜日、時期により変動）1張あたりの定員4名

5-1_2020 年度 NACKT 事業報告書

※和歌山県民向け割引プラン利用の場合 1泊2食 9,500 円～

※夕食はテント内での BBQ、朝食はトーストと珈琲のセルフサービス

カフェ バナナジュース 390 円、珈琲 350 円、生まぐろのポキ丼 1,200 円 他
遊具エリア、駐車場 無料

■目標サンプル宿泊組数：150 組以上

■結果：売上等

	グランピング事業			カフェ事業	那智勝浦町内での 調達
	宿泊組数	宿泊売上	平均単価	カフェ売上	
目標	150 組以上	6,000,000 円	40,000 円	4,167,000 円	—
実績	150 組	4,514,000 円	30,091 円	3,555,000 円	4,734,000 円
達成率	100%	75.2%	—	85.3%	—

グランピング事業に関しては、宿泊組数は目標値を達成したが、宿泊売上は未達となった。その原因は、コロナ禍において予約キャンセルが多発したタイミングで、「県民割引」「素泊りプラン」「お一人様プラン」などを臨機応変に打ち出したことにより、平均単価が想定よりも下回ったことである。カフェ事業売上も未達となった理由は、同様にコロナ禍によって休業日を設定したことによる。本事業では、那智勝浦町からの調達を積極的に行い、町内の取引先への支出額は 470 万円を超え、宿泊客やカフェ利用客を誘客しただけでなく、町内事業者の売上増加にも寄与したと言える。

■結果：満足度

「知人や友人に、BLUE BEACH NACHI をお勧めしたいと思う」と回答した人が 97% となり、満足度が非常に高い結果となった。（利用者に対するアンケート調査より：有効回答数 112）

■結果：利用者の属性

関西圏からの新規顧客（特に若者）をターゲットに設定していたが、高い成果を上げたと言える。

・関西圏が 91.1% （他調査による町内宿泊者は 71.1%）



・新規顧客が、49%（他調査による町内宿泊者は 33.4%）

・20代が 52%、30代が 20%。20～30代を合計すると 72%。

（他調査では、20代が 13.5%、30代が 14.2%、20～30代を合計すると 28.7%）

■実証実験終了後、譲渡先を公募した結果、株式会社中の島（町内宿泊事業者）へグランピング資材一式と

実証実験データを譲渡した。(譲渡額 100 万円)

(2) 世界遺産・熊野古道「大辺路」を要とした滞在を促進する誘客多角化事業

2020 年 6 月に実施した観光資源基礎調査結果 (19 ページ参照) より熊野古道の中でも認知度が低く、課題も多い「大辺路」を活性化することを目的に、観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証事業」に【世界遺産・熊野古道「大辺路」活性協議会】を組織し、2020 年 7 月に応募。採択され、下記の事業を実施した。(予算規模：2,000 万円)

※世界遺産・熊野古道「大辺路」活性協議会構成団体

(一社) 那智勝浦観光機構、(一社) 南紀串本観光協会、那智勝浦町観光企画課、串本町産業課、熊野古道大辺路刈り開き隊、なちかつ古道を守る会、熊野・那智ガイドの会



① 【基礎整備】観光資源調査

熊野古道「大辺路」のうち、串本町から那智勝浦町に至る区間について、以下の調査を行った。

■調査期間：2020 年 11 月 11 日～11 月 24 日

■調査項目：「歩行ルート」「歩行の安全度・問題点」「観光資源の現状及び埋没資源の有無」「歩行者への利便性・快適性・提供施設、設備の現状」「歩行者のためのサイン類の現状」「各駅の現状」

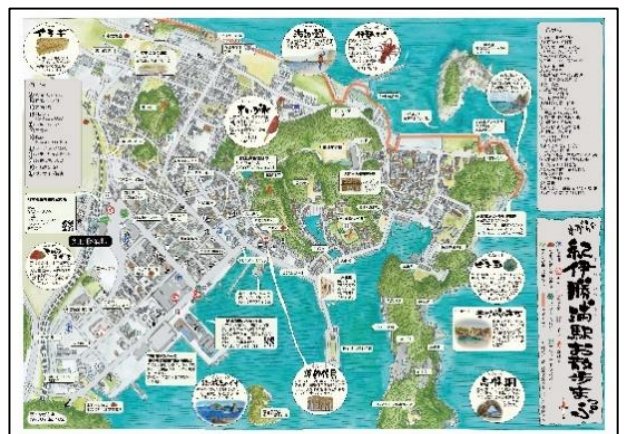
■調査箇所：全 10 歩行ルート、15 駅 (JR 和深駅～JR 宇久井駅)

② 【基礎整備】アクセスルートマップ/案内板、駅周辺マップの制作

串本町、那智勝浦町の「大辺路」に係る各地区長、案内ガイド団体、熊野古道保全団体、地区の有識者の協力のもと検討委員会を組織して、地元の声を反映させる体制で制作。

・「わがらの駅お散歩マップ」

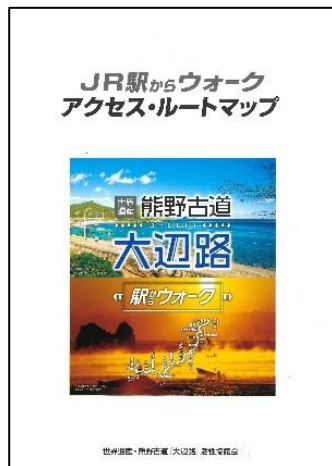
列車の待ち時間の有効活用に役立つ、JR 和深駅～JR 宇久井駅間の 15 駅各周辺の見どころを楽しく案内する絵地図をまとめた冊子。5,000 部制作し、各観光案内所や駅などに配架。



・「アクセスルートマップ」

JR 和深駅～JR 宇久井駅間の 15 駅から熊野古道「大辺路」にアクセスする経路を掲載。

1,500 部制作 各観光案内所や駅にて配架。また案内板としても制作し、各駅舎壁面等に取り付け。



③【機能強化】大辺路案内ガイド研修

■実施日：2020年12月8日～9日

■コース：JR 田子駅 ⇒ JR 紀伊有田駅 / JR 湯川駅 ⇒ JR 那智駅

■参加者：15名×2組=30名

④【機能強化】ファミトリップ

インバウンド専門旅行会社やインフルエンサーを招聘し、ファミトリップを実施。

■1回目：2020年12月14日～16日

参加者：7名（東京発旅行会社2名、メディア1名、大阪発旅行会社3名、ガイド1名）

集合：JR 紀伊勝浦駅 解散：南紀白浜空港/JR 白浜駅

宿泊：小阪屋（那智勝浦町内民宿）、ビジネスホテル串本

コース：

- (1日目) JR 紀伊勝浦駅 ⇒ 曼荼羅絵解き体験 ⇒ 大門坂～熊野那智大社～那智山青岸渡寺～
那智の滝ウォーク ⇒ ブルービーチ那智にて BBQ ⇒ かつうら御苑にて温泉 ⇒ 小阪屋泊
- (2日目) 大辺路ウォーク（天満～駿田峠～加寿地藏～諏訪神社～きよもん）⇒ 日帰り入浴体験
⇒ ゆかし湯一周ウォーク ⇒ JR 湯川駅 ⇒ JR 串本駅 ⇒ 夕食「おおはし」
⇒ ビジネスホテル串本泊
- (3日目) 橋杭岩 ⇒ JR 紀伊姫駅 ⇒ JR 和深駅 ⇒ 大辺路ウォーク（新田平見道～富山平見道
～徳大明神社）⇒ JR 田並駅 ⇒ 串本海中公園 ⇒ 南紀白浜空港/JR 白浜駅

■2回目：2021年1月9日～11日

参加者：4名（大阪発インフルエンサー2名、熊野発旅行会社1名、ガイド1名）

5-1_2020年度 NACKT 事業報告書

集合：JR 周参見駅 解散：JR 紀伊勝浦駅

宿泊：ビジネスホテル串本、小阪屋（那智勝浦町内民宿）

コース： ※1 回目のコースの概ね逆回り

⑤【機能強化】オンラインツアー実験

「活き伊勢海老が届く！町長&オンライン兄さんと巡る、那智勝浦ツアー」

■実施日：2021年1月31日（日） 11:00～12:30

■目的：大辺路は沿岸部の熊野古道であるため、季節ごとの新鮮な水産物を使った食事機会があり、PR次第で円滑な誘客を望める。今回のオンラインツアーでは、上記水産物を日本人に対してPRすることで、顧客が現地のファンとなり、実際に足を運んでくれることを狙う。



■内容：事前に活きた伊勢海老（300グラムまたは500グラム）を自宅に送付。当日は那智勝浦町長が浦神地区を紹介し、地元漁師が伊勢海老の秘密を紹介。オンラインツアーに参加しながら、活きた伊勢海老を自宅で調理して、みんなで味わう。

■参加者：33組（目標に対して、達成率110%）

■結果：アンケート有効回答数6件

満足度：4.7（5点満点）

現地に行きたくなったか：4.5（5点満点）

主なコメント：

「町の魅力がよく伝わる構成で進行もスムーズでとても良かった。町の人々の地元愛もよく伝わった」

「活き伊勢海老と、町長の生出演、時間配分など申し分なしのツアーでした」

「参加型ツアーとして、食とコラボレーションしていたのが良いアイデアだと感じました。食卓がにぎわうと、非日常のツアーが日常と結びつき、幸福感が上がります」

⑥【実証実験】大辺路モデルコースガイドツアー

■目的：「JRを活用した大辺路ウォーク」が滞在型の観光地づくりに有効な手段かどうかを実証実験する。
また、コロナ感染対策にガイディングレシーバーを導入し、三密回避とガイド通話状況のモニタリングも行う。

■コース：

- ・串本町プログラム（JR和深駅～JR田子駅～JR田並駅 約10キロ） 担当：大辺路刈り開き隊
2021年2月8日（月）・2月9日（火） 定員各日30名
- ・那智勝浦町プログラム（JR湯川駅～JR紀伊天満駅～JR那智駅 約7キロ）
2021年2月10日（水）・2月11日（木・祝） 定員各日30名 担当：熊野・那智ガイドの会

■結果：

実施区分	串本町プログラム		那智勝浦町プログラム	
実施コース	JR和深駅からJR田並駅 約10キロ		JR湯川駅～JR那智駅 約7キロ	
実施日程	2021年2月8日	2021年2月9日	2021年2月10日	2021年2月11日
参加者数	22名	15名	26名	31名
担当ガイド人数	4名	4名	4名	4名
アンケート回収数	22	14	26	30
アンケート結果 (満足度)	歴史・文化的な豊富さ:80% 道標や案内板の充実度:80% 熊野古道らしい雰囲気:67% コースの距離(ちょうどいい):77% 体力的負担(ちょうどいい):71% JR利用の便利さ:71%		歴史・文化的な豊富さ:87% 道標や案内板の充実度:70% 熊野古道らしい雰囲気:79% コースの距離(ちょうどいい):75% 体力的負担(ちょうどいい):73% JR利用の便利さ:69%	

⑦【実証実験】大辺路コンシェルジェ

■目的：大辺路を愛する地元ボランティアが、JRの駅に待機し大辺路ウォークを楽しみに来た方々を迎え入れ、交流することで熊野古道大辺路と町の魅力を伝える。

■実施期間：2021年3月12日（金）～3月14日（日）

■実施場所：

串本町 JR8 駅（和深、田子、田並、紀伊有田、串本、紀伊姫、古座、紀伊田原）大辺路刈り開き隊担当
那智勝浦町 JR6 駅（紀伊浦神、下里、湯川、紀伊勝浦、紀伊天満、那智）

熊野・那智ガイドの会／なちかつ古道を守る会担当

■結果：

JR各駅出発 259名がコンシェルジェと交流

(3) まぐろ・くじら満喫体験フェスタ ～滞在を促進する誘客多角化事業～

ジオサイトの「紀の松島」を真ん中に隣接する那智勝浦町と太地町はそれぞれ「水揚げ日本一の生まぐろ」、「日本遺産 鯨とともに生きる歴史と文化」という素晴らしい観光資源がある。

しかしながら、団体旅行が減少し、個人旅行、外国人観光客の増加に対する観光基盤整備と機能強化が遅れていた。その改善の第一歩として本プロジェクト企画を観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証事業」に【まぐろ・くじら満喫体験フェスタ実行委員会】を組織し、2020年7月に応募。採択され、下記の事業を実施した。(予算規模：1,600万円)

※まぐろ・くじら満喫体験フェスタ実行委員会

(一社) 那智勝浦観光機構、那智勝浦町観光企画課、太地町産業建設課、太地町立くじらの博物館、紀の松島観光株式会社、南紀くろしお商工会、南紀勝浦温泉旅館組合、那智勝浦町民宿組合、熊野・那智ガイドの会、和歌山県東牟婁振興局、(株)新宮看板広告、(株)和歌山リビング新聞社、(有)マインド、(有)インターセッション



■実施概要：

モニタークーポンガイド(冊子)を制作し、観光資源でもある「生まぐろ」と「くじら」をメインテーマに、来訪者が那智勝浦町、太地町の二つの町を結ぶ「紀の松島めぐり」遊覧船を利用し、それぞれの町の食文化と生活文化を学び、食べ歩きを楽しみ、まぐろとくじらを町ごと満喫体験する。

■実施期間：2021年2月1日(月)～2月7日(日)

■実施したモニタークーポン内容：

- ①紀の松島めぐり遊覧船 乗船券500円割引(事前予約制)
- ②太地町立くじらの博物館 入館料500円割引+イルカ・クジラ餌あげ体験付(通常300円)
- ③那智勝浦町・太地町のグルメ・お土産57店舗で使える500円割引

■結果：

実施期間は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、フェスタ開催も危ぶまれたが感染対策をしっかりと施し、マイクロツーリズムとして地元の良さを再発見すること及びエリア内経済活性化を目的に事業を実施することができた。

① 紀の松島めぐり遊覧船 乗船数331人

想定を大きく下回った。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大型観光ホテルの休業が大きく影響したと考えられるが、那智勝浦町内飲食店の賑わいと、くじらの博物館の入館状況とを比較すると、

5-1_2020年度 NACKT 事業報告書

十分な成果とは言えない結果となった。原因は、「情報発信不足」「近隣の駐車場の利便性が低い」ことなどが考えられ、今後の課題となった。

②太地町立くじらの博物館 入館数786人

フェスタ開催前までは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数が前年比15%程度の落ち込み状態であったが、フェスタ後半では前年並みまでの入館数となり成果を上げたと言える。

③那智勝浦町「生まぐろ満喫・食文化体験」 来店者数4,817人

想定約2倍の来訪者で賑わいを見せ、町内経済活性化として成果を上げた。しかしながら、町内の「生まぐろ文化」を広く知らしめる「市場見学」「まぐろ資料館への来場」の増加にはつながらず、今後の課題となった。

(4)「ジビエの聖地」清流古座川をめぐる熊野ジビエ・レストランバス

観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証事業」に【熊野ジビエレストランバスプロジェクト協議会】として参画し、2020年7月に応募。採択され、下記の事業を実施した。(予算規模：800万円)

※熊野ジビエレストランバスプロジェクト協議会構成団体：
熊野御坊南海バス株式会社、(一社)那智勝浦観光機構、古座川ふるさと振興公社(旅館、ジビエ工房運営)、一枚岩モノリス TEAM HYGGE



■実施期間：2021年2月12日(金)～2月23日(日)

■実施内容：

早春の熊野地域(那智勝浦町～古座川町)の海岸美と渓谷美が味わえる区間をオープントップの2階建てレストランバスで運行。提供するランチメニューは、古座川町のジビエグリーンを中心に、地域の冬野菜を使用したスープ、那智勝浦特産の生まぐろのカルパッチョ、鹿ソーセージのサラダ、古座川町特産の柚子の創作スイーツとホットジュース。オープントップの感染防止策を完璧にしたニューノーマルな動くレストランツアー。

■提供メニュー：

古座川ジビエ、柚子、地元野菜、フルーツ、那智勝浦産生まぐろ、熊野塩、地元産しょうゆなどを使った「スペシャルランチ」

■コース：

道の駅なち ⇒JR 紀伊勝浦駅 ⇒(30分) ⇒道の駅虫喰岩(15分滞在) ⇒(25分)
⇒道の駅瀧之掇太郎(20分滞在) ⇒(25分) ⇒道の駅一枚岩(20分滞在) ⇒(25分)
⇒JR 串本駅 ⇒(45分) ⇒道の駅なち

■結果：

①【定量評価】数値目標に対する成果(満足度と再来意欲)

アンケート結果(有効回答数108)より、レストランバス満足度98%(目標70%)、レストランバス再来意欲79.6%(目標70%以上)で、目標達成。

②【定量評価】数値目標に対する成果(集客数と満足度)

ファミトリップ参加者20人(目標20人)、県内飲食・ホテル参加者24人(目標20人)、地域住民参加者22人(目標20人)、一般モニター48人(目標40人)、合計138人で目標達成。

モニターツアー満足度100%(目標70%以上)、他人に勧める98.1%(70%以上)と目標達成。

② 【定性評価】本事業の目的／実証を目指す仮説に対する評価

本事業では、古座川町ジビエのブランディングと那智勝浦町から古座川町ルートの創出が目的であったが、行程の満足度が98.2%と非常に高く、このルートの親和性の良さは実証できた。またジビエ料理の満足度も93.5%と非常に高く、98.1%が再度食べたいという結果となり、このメニューは十分商品化できると考えられる。

③ ①～③を踏まえた反省点と次年度以降につながる発見・学び等

レストランバスは山道運行時によく揺れるため、平地運行の際に食事を提供すべきことがわかった。後半は少し手持ち無沙汰になるようで、30分～1時間ほど全行程を短縮する方が、より一層評価が上がるのが分かった。ガイド案内にもう一工夫あれば、喜んでもらえることも分かった。